

命令文

All Rights Reserved, Copyright (C)
Donovan School of English

命令文とは

- 命令文＝

You(2人称)に対して「命令」をする文

命令文の種類

1.1 肯定の命令

1.2 否定の命令

2 依頼

3 勧誘

1.1 肯定の命令 (1)

- 意味 — 「～しなさい」「～しろ」

(1) be動詞の場合のかたち

Be + 名詞/形容詞 .

- Be a good wife. 「良い妻でいなさい。」
- Be quiet. 「静かにしなさい。」
- Be careful. 「気をつけなさい。」
- Be ambitious. 「大志を抱きなさい。」

1. 1肯定の命令(2)

(2) 一般動詞の場合のかたち

一般動詞の原形(+名詞/形容詞).

- Shut the door. 「ドアを閉めなさい。」
- Open the window. 「窓を開けなさい。」

1.2 否定の命令(1)

- 意味 — 「～してはいけません」「～するな」

(1) be動詞の場合のかたち

Do not [Don't] + be + 名詞/形容詞 .

- Don't be a fool. 「ばかなことはやめなさい。」
- Don't be silly. 「ふざけないで。」

1.2 否定の命令(2)

(2) 一般動詞の場合のかたち

Do not [Don't] + 一般動詞の原形(+名詞/形容詞)。

- Don't go there. 「そこへ行ってはいけません。」
※there「そこに」「そこで」「そこへ」
- Don't speak Japanese here.
「ここで日本語を話してはいけません。」
※here「ここに」「ここで」「ここへ」
- A: I'm sorry. 「ごめんね」
B: Never mind! 「気にしないで」
※mind「気にする」

2. 依頼 (=丁寧な命令) (1)

- 意味 —

(a) 肯定の場合「～してください」

(b) 否定の場合「～しないでください」

(a) 肯定の場合のかたち

Please + be動詞の原形 + 名詞/形容詞 .

Please + 一般動詞の原形 (+ 名詞/形容詞) .

- Please be quiet. 「静かにしてください。」
- Please be careful. 「気をつけてください。」
- Please shut the door. 「ドアを閉めてください。」
- Please open the window. 「窓を開けてください。」

2. 依頼 (=丁寧な命令)(2)

(b) 否定の場合のかたち

Please + do not [don't] + be動詞の原形 + 名詞/形容詞.

Please + do not [don't] + 一般動詞の原形 (+ 名詞/形容詞).

- Please don't go there.

「そこへ行かないでください。」

- Please don't speak Japanese here.

「ここで日本語を話さないでください。」

3. 勧誘 (1)

- 意味 ー

(a) 肯定の場合「(一緒に)～しよう」

(b) 否定の場合「(一緒に)～しないでおう」

(a) 肯定の場合のかたち

Let's + be動詞の原形 + 名詞/形容詞 .

Let's + 一般動詞の原形 (+ 名詞/形容詞) .

- Let's be together just for now.

「今だけは一緒にいよう。」

- Let's play football [soccer] together.

「一緒にサッカーをしよう。」

- Let's eat some oranges.

「オレンジを食べよう。」

3. 勧誘 (2)

(b) 否定の場合のかたち

Let's not + be動詞の原形 + 名詞/形容詞 .

Let's not + 一般動詞の原形 (+ 名詞/形容詞) .

- Let's not make a noise.

「音をたてないでおこう。」

※make a noise「音をたてる」